

かき氷

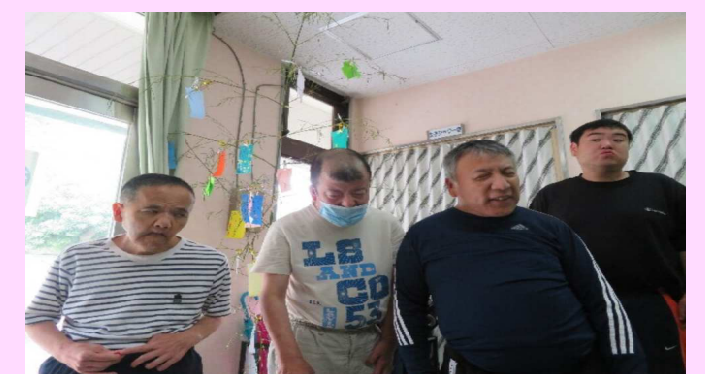
今年も盆踊り等、楽しみにされていたイベントが軒並み中止になってしまった為、コロナ禍ではありますが、7月15日と27日に、夏のイベントとして、風物詩である「かき氷」を、少人数制にする等の感染対策を十分に行った上で実施しました。

シロップはイチゴ、レモン、みぞれ、ブルーハワイ、練乳など好きなものを選んでかけて食べて頂き、どれも美味しかったと好評で、良いリフレッシュになったのではないかと思います。

支援員 南河 圭



七夕



日本での七夕の起源を調べてみると、諸説ありますが奈良時代に中国の風習が伝わってきたことから始まった様です。江戸時代には「五節句」の一つになり、短冊に芸事（三味線、踊りなど）や、習字の上達の願いを書く風習が広まったそうです。七夕伝説として「織姫と彦星」の話を思い出す人も多いのではないのでしょうか。七夕とは、織姫と彦星が年に一度会うことができる特別な日で、こちらも諸説ありますが中国伝来のお話です。現在の日本の暦では七月七日は梅雨の最中ですが、旧暦では現在の八月十二日頃。晴れの日が多く、星を眺めるのにも適した時期です。ささゆり作業所では、笹を用意し、色紙にみなさんの願い事を書いていただく行事として行いました。食べたいもの、欲しいもの、行きたい場所、たくさんの様々な願いがありました。今年は「向井家」と合同で、短冊等飾らして頂きました。（左写真）昨年から様々な行事が中止となっており、季節の移り変わりも何となく曖昧になってしまっている様に感じます。みなさんの願い事を、誰に遠慮することなく叶えることができる日の到来が待ち遠しいです。

支援員 安藤 信二



防災訓練

6月9日コロナウイルス感染予防に伴い、消防団員の立ち会いは無しで、防災訓練を実施しました。

非常ベルを鳴らし、本番さながらの状況で行う事により皆さん職員の避難誘導指示に従ってスムーズに避難することができていました。

支援員 藤本 翼

